



創立146年

学校通信 2月号

国立市立国立第一小学校
校長 苫米地 高志
令和2年1月31日

里山のホタルへの想い

校長 苫米地 高志

11月のことです。3年生の子たちが1か月ほど飼育したホタルの幼虫を、「城山さとのいえ」付近のハケ下の小川に放流をしました。

国立一小的の南側にある城山は自然の宝庫です。国立一小では植物や昆虫などの観察を、いろいろな学年で毎年のように行っています。また、5年生では、毎年、稲作の体験をさせていただいています。さらに、憩いの場として、毎日のように「城山さとのいえ」に通う子供たちもいます。城山付近の自然や施設は、国立一小的の全ての子供たちの学習や生活に根付いています。

地域の方々も城山付近への想いがたくさんあります。観察を通して自然の大切さを教えてくださる方。農業体験を支えている農業委員の皆さん。里山的な景観を取り戻すための話合いや活動を行ってくださっている「城山の里山づくり・里人会議」の皆さんや市役所の方々。今回の3年生の取組は、「里山にホタルを取り戻したい」と思う地域の方の願いと、地域の方との活動を大切にしたいという学校の願いが一体となって実現をしました。

先日、市役所の方が、子供が設置したホタルの幼虫の保護についての立て看板のことをにこやかに報告してくれました。ホタルの飼育やホタルに関する調べ学習を通して、ホタルへの愛着が生まれた子供たちの自発的な看板には「この付近にホタルの幼虫がいます。自然を大切にしてください。」という内容が記されていました。1か月ほどの飼育でしたが、子供たちには、ホタルとともに里山を大切にしたいという気持ちも膨らみはじめました。

ホタルが舞う6月。城山付近でのホタルを眺めながら、改めて、国立一小が大切にしている「ふるさと谷保を愛する気持ち」の高まりを、子供たちと、また、地域の方と共に感じてみたいと願っています。

2月の行事予定

生活目標「気持ちを言葉で伝えよう」

食育目標「給食を作ってくれる人に感謝しよう」

安全指導「交通規制について確認する」

「知らない人から友達の電話番号を聞かれても応じず、すぐに連絡するようにする」

月	火	水	木	金	土
					1
3 おかえりなさいの日 朝会 ふれあい月間始	4 新1年生保護者会	5	6	7 安全指導日 郷土文化館(3年) クラブ見学会	8 ミニバスケ大会
10 4時間授業 完全下校13時25分 3-1のみ5時間授業	11 建国記念の日	12 三中訪問(6年)	13 にこにこ活動	14 5時間授業	15
17 音楽集会 個人面談(杉・対象児童)	18 個人面談(杉・対象児童)	19 個人面談(杉・対象児童)	20 4時間授業 完全下校13時25分 5-1のみ5時間授業	21 特別時程4時間授業 完全下校13時	22 学校公開 租税教室(6年) 天神太鼓・1/2 成人式(4年)
24 振替休業日	25 合同学習(杉) 個人面談(杉・対象児童)	26	27 個人面談(杉・対象児童)	28 6年生を送る会 ふれあい月間終	29

※2月の避難訓練は、予告なしの訓練です。

2月「ふれあい月間」の生活指導について

生活指導部 川原田 洋子

2月の生活目標は「気持ちを言葉で伝えよう」です。

先月の体力向上週間では、児童同士で教え合ったり励まし合ったりしながら、短なわ跳びに取り組みました。相手のことを思いやる言葉かけも聞こえてきて、体力や技能の向上とともに、気持ちもすがすがしくなりました。

「ありがとう」も、子供たちの中に浸透している言葉です。国立一小の顔として、また、下級生のお手本として頑張ってきた6年生に感謝の気持ちを伝える「6年生を送る会」に向けた取組も始まります。

「あいさつMVP」にも取り組みました。「おはようございます」に代表される挨拶は、人と人との言葉でつなぐことができます。また、「ごめんね」や「～してください」という言葉は、よい人間関係を築くためには不可欠です。

2月の「ふれあい月間」では、「気持ちを伝える」「言葉で伝える」ということを子供たちに意識させていきます。そこで、相手により言葉かけをすることができる場面をたくさん設定したいと考えています。今までよりも気持ちを上手に伝えられるよう、学校全体で、また、各クラスで取り組んでいきます。

体力向上週間の取組

体育的行事委員会 田中 大輝

今年度の体力向上週間は、三つの全校運動に取り組みました。

まず、5月に実施した「長なわ跳び」です。学級で目標を設定し、3分間の8の字跳びに挑戦しました。友達同士で声をかけ合い、励まし合い、絆が深まる活動になりました。

次に、11月に実施した「持久走」です。持久走週間では、同じペースで長い時間走ることを目標にしました。低学年は3分間、中学年は4分間、高学年は5分間走り続けます。体育委員会が1周目に各クラスの先頭を走ってペースをつくりました。音楽に合わせていきいきと走る姿が見られました。また、中休みの時間だけでなく、昼休みの時間にも校庭で意欲的に走っている児童が多く見られました。

そして、1月に実施した「短なわ跳び」です。今年のなわ跳び週間も、リズムなわ跳びに取り組みました。はじめは、曲のリズムに合わずに跳んでいる児童が多くいました。しかし、練習を積み重ねることで少しずつ曲に合わせて跳ぶことができるようになり、どの学年の児童もリズムにのって楽しそうに跳んでいました。また、昼休みには校庭で、なわ跳びの技を教え合う姿も見ることができました。

教員の研修について

研究推進部 三枝 富貴子

子供たちが「生きる力」を身に付けるには、それぞれの学校が教育目標を達成し、日々の教育活動を充実させなくてはなりません。そのためには、一人一人の教員が確かな力を身に付ける必要があります。本校では、教員一人一人が授業力、指導力を向上していくために、様々な研修を行っています。

(1) 校内研究

本年度は、研究主題に「互いに認め合い、考えを深めることができる一小の子」、副主題に「読むことの指導を通して」を掲げ、国語学習の充実のための研究に取り組み、個々の教員の授業力向上を図っています。

(2) 様々な「教育課題」に関する研修

東京都、国立市が最も重要課題としている人権の尊重に関すること、現在特に力を入れなければならない特別支援教育に関すること、心の教育に関することなど、様々な教育課題に関する研修会を行っています。

子供たちを取り巻く、様々な状況に対応していくために、最新の状況を把握・分析し、その対策を考え、実践に生かすように年間を通して実施しています。また、いじめ防止や体罰防止などについても、計画的に教職員の研修を行っています。

(3) 日々の授業についての研修

教員にとって、日々の授業内容の充実、子供たちの「生きる力」を育む上で常に取り組まなくてはならないことです。授業における「学習のねらい」「学習活動の内容」「振り返りの方法」など、次の週の授業予定を、必ず校長、副校長が確認をして、指導助言をしています。

書き初め展について

文化的行事委員会

轟 勝人

1月20日（月）から、書き初め展を行いました。今年度も12月と1月に、学校評議員会委員長の遠藤 寛様を講師にお招きし、子供たちに丁寧なご指導をいただきました。それぞれの学年に応じたためあてに沿って書き初めに取り組みました。

1年生は硬筆で「お正月のあさです。おめでとう。と、みんなでいいました。ことしも、げん気でがんばります。」2年生も硬筆で「うれしいお正月です。晴れた空の下、はねつきをして、みんなでたのしくあそびました。ことしも目あてをきめて、力いっぱいがんばります。」と書きました。3年生は「お正月」、4年生は「元気な子」、5年生は「希望の朝」、6年生は「夢の実現」と、子供たちは一文字一文字丁寧に鉛筆や筆を運び、真剣な表情で作品を書き上げていました。



<書き初め展 最優秀賞・優秀賞受賞者の紹介>

(敬称略)

教材費等の返金について

年度初めに集金した各学年の「教材費等の決算と集金費の返金についてのお知らせ」を2月14日に配布します。どの学年も残金があり、返金をいたします。保護者の方に、「直接、手渡したい」と考えているため、3月に行われる保護者会の際に返金いたします。（14日の時点で、決算することができない学年の返金日や返金方法は、個別にお知らせいたします。）

ご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。